

「要配慮者災害用セルフプラン」の作成を勧奨します！

新宿区は災害時に特に配慮を必要とする要介護者、障害者等（以下、「要配慮者」という。）が、自宅での生活を継続するために必要な備えをするとともに、避難所へ行った際に適切な支援を受けられるようにするため、「要配慮者災害用セルフプラン」の様式を要配慮者に送付し、作成を勧奨します。また、区内10か所で説明会を開催し作成を支援します。

セルフプランとは

自分が行く避難所や日常備品等をあらかじめ記載していくことを通じて平常時から災害に備えます。

また、自身の状況や要配慮事項等を記載し、災害時に支援者や避難所運営者に提示することで、適切な支援を早期に受けることを可能とするものです。

作成勧奨

- **対象者**…約10,000名 ※下記対象者内訳の重複者を集約した実人数 H31.3.31現在
 <内訳> ①要介護度3以上 ……約4,800名 ②身体障害者手帳2級以上 ……約5,800名
 ③愛の手帳2度以上 ……約 450名 ④災害時要援護者名簿登録者…約2,700名
 - **説明会**…区内10か所（高齢者向け施設5か所・障害者向け施設5か所を予定）で説明会を開催し、個々の状況にあったプラン作成を支援します。
- 【今後のスケジュール】 ■ 令和元年10月末 「要配慮者災害用セルフプラン」各様式を対象者へ発送
 ■ 令和元年11月～12月 作成支援のための説明会を開催

要配慮者災害用セルフプラン

セルフプラン自宅保存版

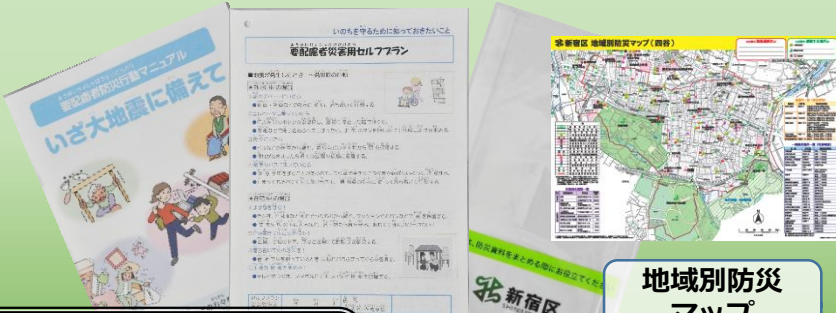
セルフプラン自宅保存版(A4版)

- 自分が行く避難所、持病の薬などの「日常備品」、食料品などの「非常用持ち出し品」を記載し、各ご家庭にお配りしているマニュアルや地域別防災マップなどとあわせて、発災時に適切な行動ができるよう壁や冷蔵庫などの見やすい場所に掲示（※）します。

要配慮者
防災行動
マニュアル

セルフプラン
自宅保存版

防災関連資料保存袋
(ビニールバッグ)



地域別防災
マップ

※各ご家庭にお配りしている
防災関連資料保存袋（ビニールバッグ）に入れて掲示

あんしん手帳とおねがいカードは収納ケースに入れて常時携帯

携帯版あんしん手帳(A7版冊子)

- あらかじめ要配慮事項・医療、介護の利用状況等を記載しておきます。
- 普段から携帯し、災害時に支援者や避難所運営者に「あんしん手帳」を提示することでご自身の状況を伝えることができます。

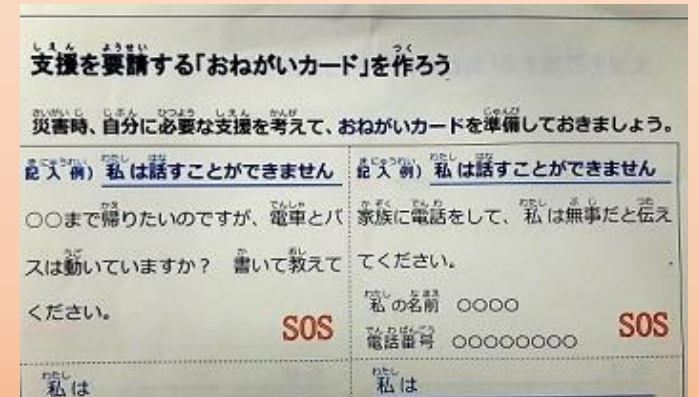
携帯版あんしん手帳 (中綴じ二つ折り)

収納ケース



おねがいカード

- 意思表示が困難な場合に、あらかじめ配慮してほしい事項を記載し、カード型に切り取り、「あんしん手帳」とあわせて携帯します。支援者や避難所運営者に提示することでご自身の意思を伝えることができます。



災害時を想定し、自分に必要な支援を考えて記載した上で切り取り、あんしん手帳とあわせて携帯します。

私は耳と言葉が不自由です
係員の人は何を話しているのですか？ 紙に書いて教えてください。

SOS